

### 稲作伝来の道筋

今から約2千4百年前の昔、私たちの祖先は稲作の技術を初めて学んでいます。稲作の発祥地は、インド北部のアッサム丘陵から、中国南部の雲南高地にかけての地帯を起源地とする見方が広がっています。この地方から西南、南、東南、東北へと広がったと考えられています。日本の稲作の原郷に限れば中国江南地方とする説で一致していますが、問題とされているのは、江南から日本列島へ伝わったルートで、それは大まかに3つの説にまとめられています。

【**華北ルート**】 朝鮮半島を経て、対馬・壱岐を島伝いに玄界灘沿岸の諸平野に到達したとする説。

【**華中ルート**】 江南地方から東シナ海を直接越えて九州へ、という説。中国の考古学者の多くはこの見解をとっており、最近では日本でも徐福伝説の評価などからこの説の立場に立つ学者もいます。

【**華南ルート**】 江南地方から南西諸島を経て九州へとする南回りの説。柳田国男氏の「海上の道」に代表されるように、日本の民俗学者の一部などに支持されています。

米作りの技術は、まず九州北部の玄界灘沿岸に伝えられました。最も古い水田跡は福岡県の板付遺跡で見つかっています。米作りは、短い間に九州から近畿地方へ、北は日本海沿いに青森まで広がっていきましました。



▶ 今福遺跡出土の石包丁  
(稲の穂を刈る道具)

ジェシカ先生  
(アメリカ出身)

### Winter Vacation 冬休み

冬休みは、長時間かけてアメリカへ帰国しました。福島の家からネブラスカ州のオハマにある両親の家まで24時間以上かかります。それだけの時間をかけても行く価値がある帰省となりました。

家に着くやいなや、母とクリスマス・ツリーを買いにでかけ、大きくて美しい木を見つけ、飾りつけを行いました。

また、滞在中母は私のためにクリスマス用の七面鳥などおいしい料理を作ってくれました。クリスマス・イブには家族と一緒にルーマニア人の友人宅のパーティに行き、おいしいルーマニア料理をごちそうになりました。クリスマスには、家族みんなでプレゼントを開け、幸せな気分になりました。大晦日の夜は、家で静かに過ごしました。おいしい料理を食べて、映画を見て過ごしました。0時にはシャンパンで新年に乾杯をしてから、ベッドに入りました。

日本に戻る時、また両親に別れを言うのは辛かったけど、松浦に戻ってこれるととてもうれしいです。

